

中央通り・東西通り社会実験2022

茨木 みちクル プロジェクト(仮)



魅力的なメインストリートと一緒に作りませんか？

取組の趣旨

茨木市では、市の中心部を日常的により多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にしていくため、新施設「おにクル」や両駅などの各拠点をつなぐメインストリートである中央通り・東西通りをより魅力的なものにしていく取組みを進めています。

令和3年度にはメインストリートの将来像を検討するワークショップを行いました。そこで検討した将来像をもとに、**今年度、社会実験を実施し、将来像の具現化や実現にあたっての課題の整理などを行う予定です。**

魅力的なメインストリートづくりについて、沿道の皆さまと一緒に取り組んでいきたいと考えています。



実施概要

日程：2022年11月上旬
 (期間は各所との協議等により設定)
 主催：茨木市・趣旨に賛同頂ける沿道関係者
 会場：中央通り・東西通り(メインストリート)
 内容：通りの将来像の実現につながる取組み

社会実験の対象範囲



社会実験のねらい

①通りとしての将来像の見える化

ワークショップで検討したコンセプト等による空間を具体化し、通りのあり方について検証する。



②沿道関係者との協働による空間づくり

通りの魅力や空間づくりについて、商店街や個店などの連携のあり方を検証する。



想定される沿道の皆さまへの効果

社会実験を通してストリートイメージの具体的なシーンを創出することで、沿道景観の賑わい創出や通りの一体感づくりを目指します。
 そうした景観づくりを通して、沿道の皆さまにとっても集客性の向上や認知度の向上等への効果につながると考えています。

<店舗の場合>

賑わいの創出

通りとしての一体感づくり

お店の認知度や集客性の向上

お店の魅力向上

令和3年度のワークショップで検討した通りの将来像(ストリートイメージ)

めざすべき将来コンセプト

人が主役になり、まちの魅力を“次ぐ”^{つな}2つのメインストリート

ストリートイメージ

①人と人との“ワン・コミュニケーション”を楽しめるストリート

気軽に立ち寄れるオープンなお店の店先やゆっくり滞在できる空間で、ささやかなコミュニケーションが自然と生まれ、通りを行き来する人のゆとりや豊かさを感じることのできるストリート

スポットづくり
滞在空間

②沿道の賑わいや季節を感じ、“ワクワク”が高まり歩きたくなるストリート

自然や季節、お店の賑わいなどを感じながら、新施設などの目的地に向けて気分が高まるストリート

通り全体での魅力的な雰囲気づくり

③まちなかの個性がつながり、“ふらっと”歩き回りたくなるストリート

周辺の商店街や施設、東西軸と交差する路地など、まちなかの多様な個性がつながり、歩き回りたくなる起点となるストリート

通りから
まち全体へ

④ゆったり並んで、安心・安全に歩きやすいストリート

2人並んで歩いたり、子どもからお年寄りまで車や自転車を気にせず、安心して歩ける安全なストリート

安心・安全

将来像の実現に向けた取組イメージ（案）

取組1 店舗の賑わいのにじみ出しによる通りの演出

店舗利用者のほか、通りを行き来する人などが利用できるテラス席の設置などにより、通りの賑わいを創出する。



民地内でのイス・テーブル等の設置



歩道を活用してのイス・テーブル設置



店舗前に設置した、だれでも利用可能なイス・テーブルの設置例（仙台市・定禅寺通り）

行政が行う取組イメージ

市では下記のような取り組みを想定しています。

東駅前公園の休憩スペース

公園入口と歩道部分での休憩スペースの創出による歩行者の利便性向上と通りの演出



バス停付近などの情報発信

バス停等にイベント情報や地域情報を発信する掲示板等を設置し、回遊性の向上を図る



自転車道のサイン設置

歩行者と自転車の錯綜をなくすために、自転車通行帯の利用を促すサインを設置



めざすべき将来コンセプト 人が主役になり、まちの魅力を“次ぐ”2つのメインストリート



取組2 通りの統一感の創出

統一したデザインツールの設置などを通して、通りとしての一体感や統一感を創出する。

通りの一体感の演出

統一したデザインによるバナー設置を店先などに設置することで、通りの一体感の演出する。



共通のデザインのミニフラッグを店先へ掲出（イメージ）

立て看板による統一した通りの演出

店前の立て看板のデザインや素材を揃えることで、通りとしての統一感を向上させる。



店舗の前に素材等を統一した立て看板を設置

花やみどりによる通りの演出

プランターを設置するなどして、花で通りを演出する。



取組3 店先のポップアップ

店先でのワゴン販売やショーケースを置くことで、お店の個性が道に表れ、歩いて楽しい通りの演出やまちの回遊性向上につなげる。

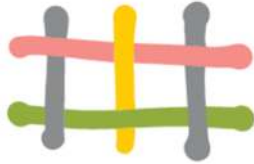


店先でのワゴン販売（イメージ）



店先での商品展示

社会実験実施します!!



茨
木

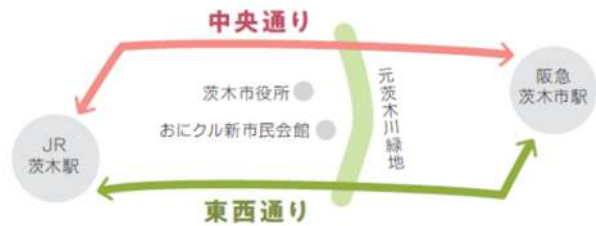
みちくる

Ibaraki MichiKuru



沿道のみなさんと一緒に取り組む 「魅力的なメインストリートづくり」

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にするための取組を進めています。昨年度は、ワークショップを通して、JR・阪急の両駅を結ぶ“メインストリート”である中央通りと東西通りの「未来の姿(将来イメージ)」や、「より魅力的な通りにするための取組、活用のアイデア」を話し合いました。この「未来の姿」や「取組、活用のアイデア」を、沿道の事業者とともに、可視化しながら、ストリートの未来の姿をみなさんと一緒に考える社会実験を開催します。



詳細は
ホームページ、
Facebookでチェック

2022.11.3 木・祝 ~ 11.30 水

茨木市ホームページ



Facebook



主催：茨木市・趣旨に賛同する沿道事業者

問い合わせ先：茨木市 都市整備部 都市政策課 TEL 072-620-1660 FAX 072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

※雨天・荒天の場合や新型コロナウイルス感染拡大の場合は、内容を中止することがあります。

茨木みちぐる

沿道のみなさんと一緒に取り組む「魅力的なメインストリートづくり」

中央通り 賑わいと交流を育む親しみやすいみちへ

① JR駅前商店街

沿道事業者の協力のもと、道路上を活用したテラス席を実験的に設置します。(11/8～14、夜間を中心に)



② おにくる北

将来的に歩道が広がった姿をイメージした、道路上の滞在・休憩スポットを設置します。



③ 茨木心斎橋商店街入口前

道路上に案内板を設置し、商店街や周辺の情報、イベント等を案内します。

街路灯バナーの設置

街路灯にバナーをつけ、統一感のあるストリートの景観を演出します。



東西通り 身近に潤いを感じる良質で落ち着きのあるみちへ

④ 東駅前公園

公園の一部を活用して休憩空間をつくります。また、期間中に、公園の利活用を促すイベントを実施します。(11/4～6)※雨天中止



⑤ おにくる南

交差点の一角にベンチなどを設置し、休憩空間をつくります。



⑥ 阪急茨木市駅南

歩道拡幅後をイメージした、道路上のみどり豊かな滞在・休憩スポットをつくります。



沿道事業者参加プログラム

沿道事業者の協力のもと、賑わいや落ち着きを感じていただける通りの演出を行います。(プランターやA型看板、ポップアップフラッグ等の設置)



※写真はすべてイメージです。

同時開催!

社会実験 オープニングイベント

11.3 木・祝 14:00～IBALAB@広場にて

(雨天の場合は福祉文化会館1階ロビーにて)

参加無料

社会実験の内容を実際に体験し、みなさんと一緒に通りのあり方を考える場として開催します。ぜひ、ご参加ください。

・定員:40人

・対象:沿道で働いている方、お住まいの方、この取組に興味のある方

・右のQRコードからお申込みいただくか、以下の内容を記載し、メールもしくはFAXで表面の連絡先までお申し込みください。①氏名(ふりがな) ②年齢 ③電話番号 ④メールアドレス



山口 敬太先生

京都市立大学大学院地球環境学室准教授



オープニングイベント
申し込み

社会実験に対するご意見をお寄せください!

みなさんの声メインストリートの将来を変えるヒントになります。メインストリートをより魅力的な通りとするために社会実験にご参加いただき、ご意見をお寄せください。



アンケートフォーム